

スタディサプリ学習塾向けサービスの 効果的な活用事例

はじめに 本資料の趣旨

平素より、大変お世話になっております。

この度、「スタディサプリ学習塾向けサービス」について、下記のいずれかの生徒を対象に、**一律で導入いただくことにより、導入前より効率的または効果的な塾運営を実現されている学習塾の活用事例**をおまとめ致しました。

▼一律の導入例

- ・通塾している全ての生徒への導入
- ・高校部・中学部・小学部等の特定のまとまりの全ての生徒への導入
- ・特定の学年の全ての生徒への導入

今後の貴塾の塾運営におかれまして、是非、本資料をご参考にしていただけますと幸いです。

一律で導入いただくことの重要性

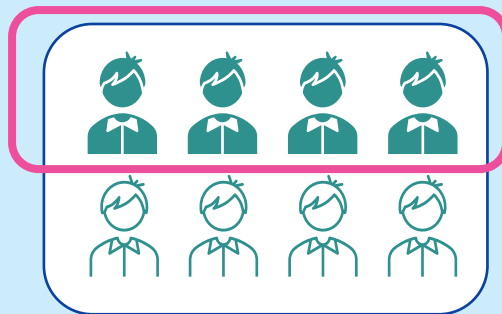
- ✓ 希望制の導入では、学習指導方法が複雑化して負荷が増加し、生徒同士のコミュニケーションによる相乗効果も生まれにくく、ICT教材を取り入れる効果が薄まることが分かりました。

全生徒へ一律導入



通塾している
全ての生徒に
一律で導入

一部生徒へ
一律導入



小/中/高の学校区分や
特定の学年の全ての生徒に
一律で導入

希望制で
まばらに導入



利用を希望する生徒に
まばらに導入

ご提供できる可能性のある利用価値

全ての生徒等に固定で導入いただき、ご活用も進んでおられる学習塾様が導入前に抱えられていたお悩みごとと、導入後にご実感されている価値は以下の通りです。

利用価値	メリット	主なお困りごと	該当資料
1 学習時間の総量UP	生徒の 学力UP	<ul style="list-style-type: none">・週1～3回程度の通塾授業日のみでは、勉強時間総量が不足。・学習管理が難しく、授業外では生徒の自立性を促す伴走がやりきれない。・演習型の宿題が中心で、家庭学習では先取り学習が難しい。	<ul style="list-style-type: none">【導入授業あり】 5～8ページ【導入授業なし】 9～16ページ
2 5教科指導の実現		<ul style="list-style-type: none">・雇用の問題で、専門教科、特定科目/分野を教えられる講師が不在。・5教科対応しているものの、家庭の経済事情により全ての受講は難しい	<ul style="list-style-type: none">【導入授業なし】 17～20ページ【導入授業なし】 21～24ページ
3 授業品質の安定・向上	自塾の 生産性UP	<ul style="list-style-type: none">・育成に手間が掛けられず、講師によって教え方にバラツキが生じる。・ICT教材は映像授業が長すぎるため、授業時間内での取り扱いが難しい。	<ul style="list-style-type: none">【導入授業あり】 25～28ページ【導入授業なし】 29～32ページ
4 保護者リレーション強化	保護者の 満足度UP	<ul style="list-style-type: none">・他講師に任せており、塾長が全生徒の学習理解度/進捗の把握しきれない。・生徒は満足していても保護者満足が得られず、退塾増加リスクがある。	<ul style="list-style-type: none">【導入授業あり】 33～36ページ【導入授業なし】 37～40ページ

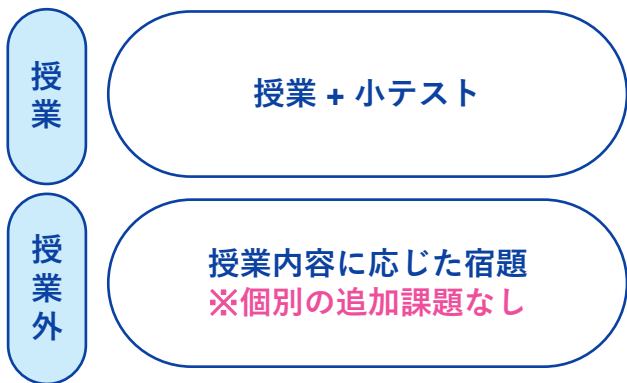
1.学習時間の総量UP①

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒が通塾していない日にも、家庭学習等の取組進捗や学習理解度をまとめて把握可能です。

講師が直接行う授業はそのままに、生徒自身が家庭学習や自習により、戻り学習や予習に取り組み、学習総量をUPする活用事例です。

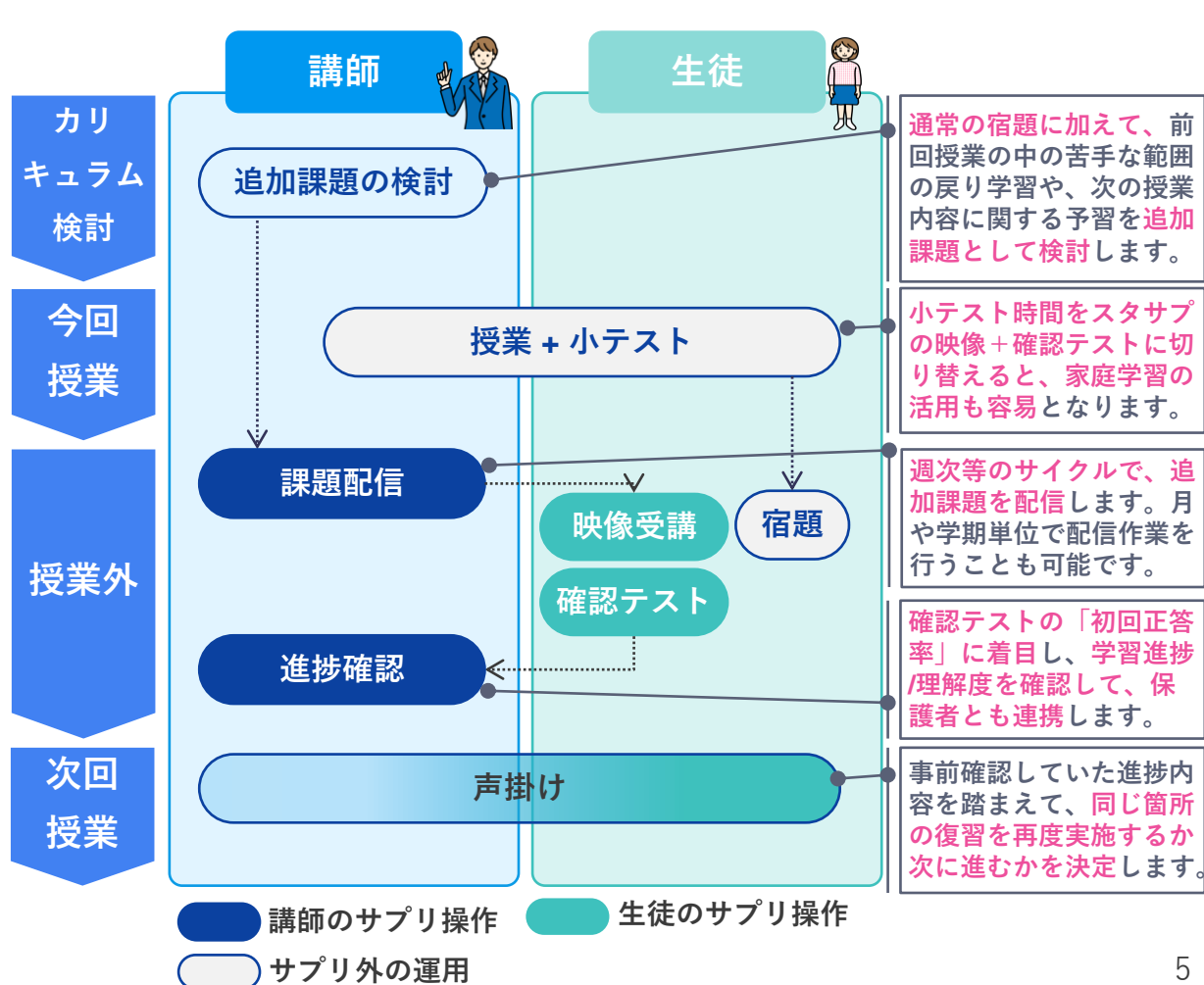
スタディサプリ導入前



課題感

- ✓ 通塾授業日のみでは、勉強時間総量が不足している。
- ✓ 授業外では生徒の自立性を促す伴走がやりきれない。
- ✓ 演習型の宿題が中心で、家庭学習では先取り学習が難しい。

スタディサプリご導入後



追加課題のイメージ

主に元々の宿題に、復習もしくは予習内容を加えた宿題を「追加課題」と称しています。追加課題の目的別にオススメの配信方法をご紹介します。

復習

追加課題の目的

- ✓ 定期試験などテスト対策の復習として活用する
- ✓ 生徒それぞれの弱点克服

予習

- ✓ 塾の授業内容を事前に予習させ、反転学習を実施する
- ✓ 授業で扱いきれない内容や欠席対応の補習を実施する

具体的な配信イメージ

- ✓ 試験1か月前になったら予想範囲を決め、試験1週間前に締切を設定してまとめてテストを配信
- ✓ 試験範囲が発表され次第、範囲に合わせてまとめてテストを配信
- ✓ 定期試験や模試などで弱点となっている単元/分野の映像・テストを配信

配信設定例

テストで間違った単元/分野のみ映像授業で復習する設定方法



最初に映像授業を視聴してから確認テストに取り組む配信方法



生徒に家庭学習をやり切ってもらおう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を起動に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取り組みが漏れやすい生徒については、課題配信後、保護者にLineやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でサプリを利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のために声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ>宿題の順で遷移して取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、実施するのが当たり前の風土を醸成する。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする



提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。

5

生徒情報	活動メモ	字のデータ	アンケート	学習履歴	検索
宿題履歴					
期別	課題名	提出状況	最終解答日時		
▶ 2022年4月4日～2022年4月24日	文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第5講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第6講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第7講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第8講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第9講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第10講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問	提出済	---	詳細	
▶ 2022年4月4日～2022年4月24日	文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第5講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第6講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第7講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第8講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第9講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第10講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問	提出済	---	詳細	
▶ 2022年4月4日～2022年4月17日	文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第5講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第6講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第7講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第8講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第9講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第10講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問	提出済	---	詳細	
▶ 2022年4月4日～2022年4月10日	文法学習 第1～2講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問	提出済	2022年4月10日 10:28	詳細	
▶ 2022年4月4日～2022年4月10日	【文法学習】4月3日 第1～2講 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定疑問	提出済	2022年4月10日 10:32	詳細	

面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

課題名	演習動画視聴数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
▶ 中1 理科 実用英語 新入生特約 初回の授業変化	---	1	67%	67%
▶ 中1 理科 実用英語 新入生特約 初回変化と授業・演習の変化	---	1	25%	25%
▶ 中1 理科 実用英語 新入生特約 初回変化と授業・演習の変化	---	1	50%	50%
▶ 中1 理科 実用英語 新入生特約 演習と初回	---	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア -3, -2, -1, +1, +2, +3
- イ -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3
- ウ 0, +1, +2, +3, +4
- エ -4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4

× エ

正答

× ア

✓ イ

× ウ

× エ

導入授業あり ⇒ 導入授業なし

1. 学習時間の総量UP②

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒が通塾していない日にも、家庭学習等の取組進捗や学習理解度をまとめて把握可能です。

講師が直接行う導入授業を、サプリを主軸とした映像授業＋コーチング主体に変更して、1講師あたりの対応生徒数や通塾頻度/通塾時間を増やし、学習総量をUPする活用事例です。

スタディサプリ導入前

授業

授業 + 小テスト

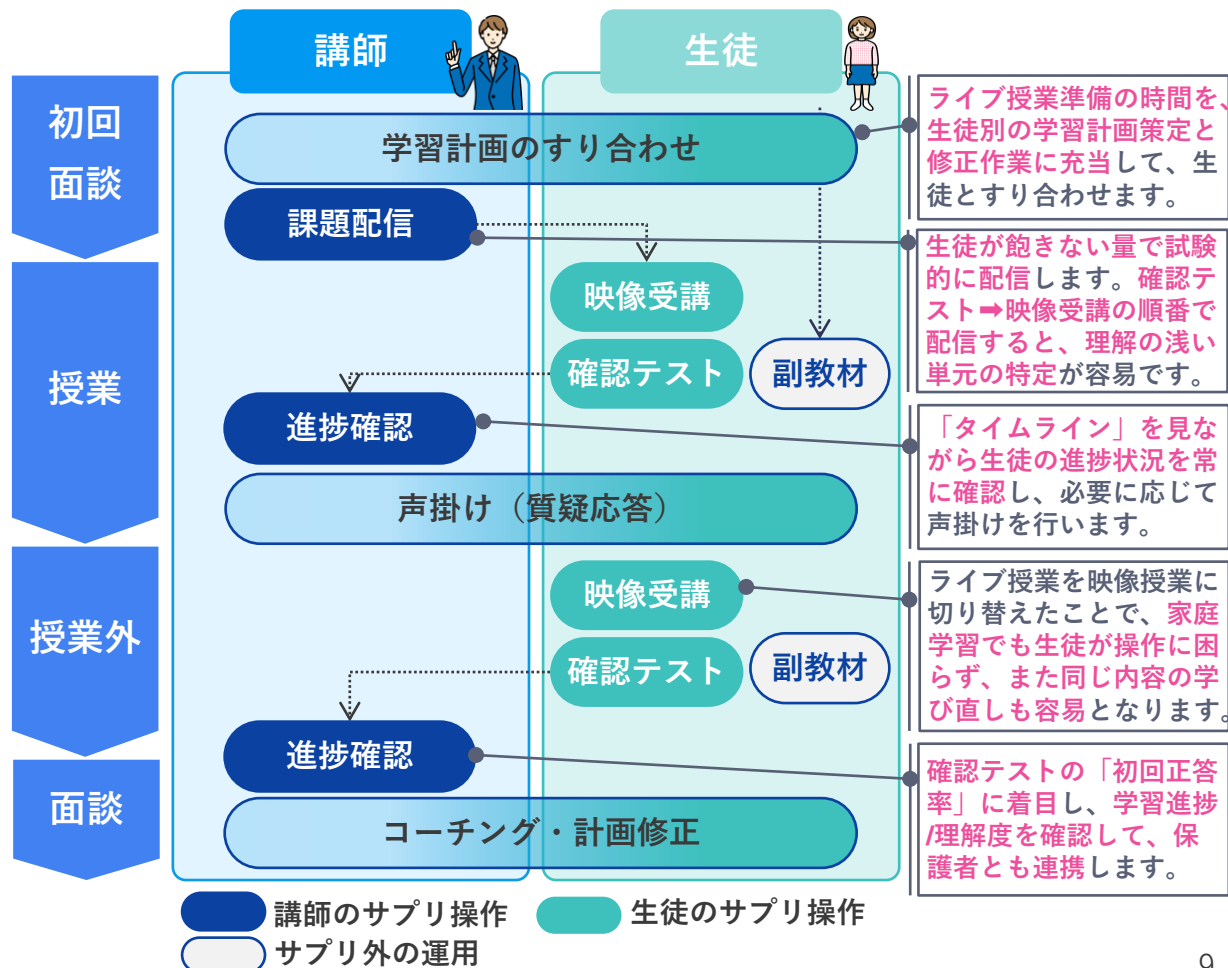
授業外

授業内容に応じた宿題
※個別の追加課題なし

課題感

- ✓ 通塾授業日のみでは、勉強時間総量が不足している。
- ✓ 授業外では生徒の自立性を促す伴走がやりきれない。
- ✓ 演習型の宿題が中心で、家庭学習では先取り学習が難しい。

スタディサプリご導入後



タイムライン機能の活用方法

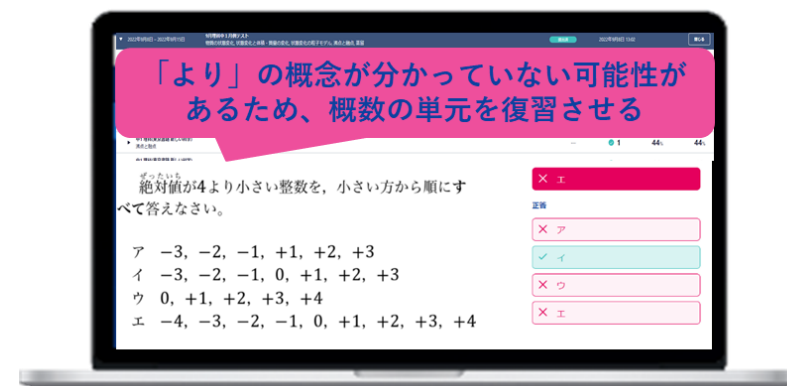
リアルタイムで生徒の学習進捗が把握できるタイムライン機能の活用方法をお勧めします。オンラインで結果を確認しながら、必要に応じて、生徒に声かけすることが可能です。

タイムラインをモニタリングし続ける



- ① 適切な時間で取り組めたか、確認テストのスコアはどうだったかを、講師は自席のPC又はタブレットを持ち歩いてリアルタイムで確認。

アドバイスや声かけ



- ② 配信開始から取組み完了まで、早すぎる/遅すぎる生徒に声掛け。
- ③ 正答率が低い生徒には、答案に従い間違えた箇所の指導を実施。復習が必要な単元を特定し、課題を追加。
- ④ 不慣れな生徒には、視聴速度の変え方、戻り方、止め方なども教える。

生徒に家庭学習をやり切ってもらおう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を軌道に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取組みが疎かになりやすい生徒については、課題配信後、保護者にLINEやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でサプ利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のための声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ⇒宿題の順で取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、やる気を引き出す雰囲気と環境を醸成する。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする

提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。

面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

課題名	演習動画視聴数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
中1理科実習課題 新(人)特約 物質の変化	—	1	67%	67%
中1理科実習課題 新(人)特約 物質変化と状態・質量の変化	—	1	25%	25%
中1理科実習課題 新(人)特約 物質変化と状態・質量の変化	—	1	50%	50%
中1理科実習課題 新(人)特約 液体と固体	—	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア $-3, -2, -1, +1, +2, +3$
- イ $-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3$
- ウ $0, +1, +2, +3, +4$
- エ $-4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4$

× エ

正答

× ア

✓ イ

× ウ

× エ

1. 学習時間の総量UP③

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒が通塾していない日にも、家庭学習等の取組進捗や学習理解度をまとめて把握可能です。

通塾授業内に加えて、家庭学習や自習室利用時等、授業外の学習管理も徹底することで、生徒の特性による学習時間のムラを低減し、学習総量をUPする活用事例です。

スタディサプリ導入前

授業

導入授業は実施せず
コーチング主体の指導

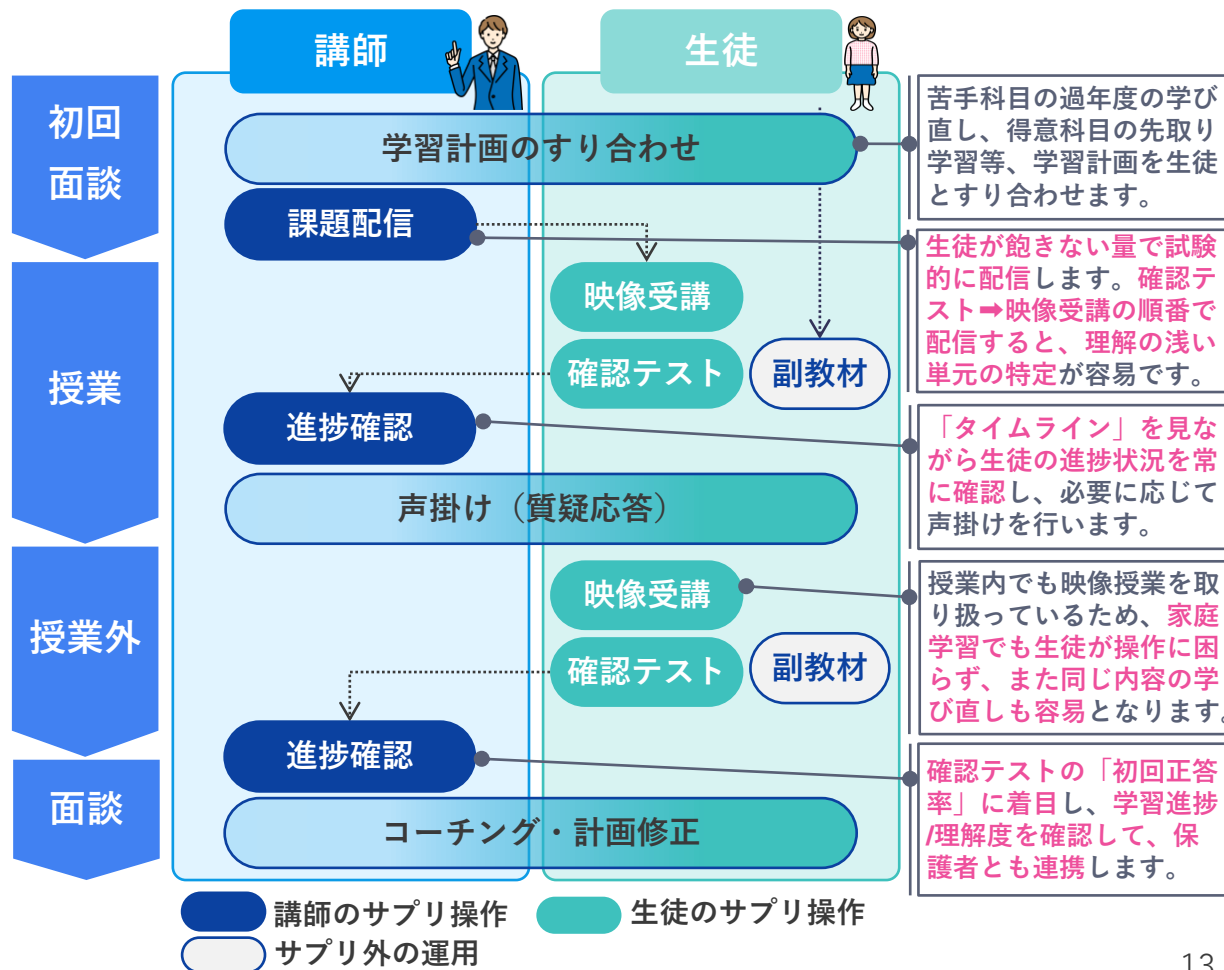
授業外

授業がないため、
家庭学習等は基本、生徒任せ

課題感

- ✓ 通塾授業日のみでは、勉強時間総量が不足している。
- ✓ 授業外では生徒の自立性を促す伴走がやりきれない。
- ✓ 演習型の宿題が中心で、家庭学習では先取り学習が難しい。

スタディサプリご導入後



タイムライン機能の活用方法

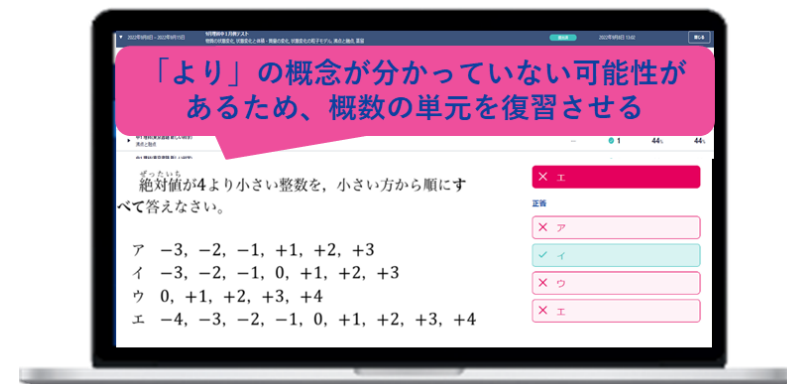
リアルタイムで生徒の学習進捗が把握できるタイムライン機能の活用方法をお勧めします。オンラインで結果を確認しながら、必要に応じて、生徒に声かけすることが可能です。

タイムラインをモニタリングし続ける



- ① 適切な時間で取り組めたか、確認テストのスコアはどうだったかを、講師は自席のPC又はタブレットを持ち歩いてリアルタイムで確認。

アドバイスや声かけ



- ② 配信開始から取組み完了まで、早すぎる/遅すぎる生徒に声掛け。
- ③ 正答率が低い生徒には、答案に従い間違えた箇所の指導を実施。復習が必要な単元を特定し、課題を追加。
- ④ 不慣れな生徒には、視聴速度の変え方、戻り方、止め方なども教える。

生徒に家庭学習をやり切ってもらう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を軌道に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取組みが疎かになりやすい生徒については、課題配信後、保護者にLINEやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でサプ利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のための声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ⇒宿題の順で取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、やる気を引き出す雰囲気と環境を醸成する。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする



提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。



面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

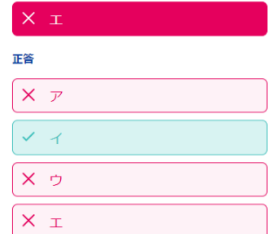
課題名	演習動画視聴数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
中1理科実習課題 新入生特約 物質の変化	—	1	67%	67%
中1理科実習課題 新入生特約 物質変化と溶解・質量の変化	—	1	25%	25%
中1理科実習課題 新入生特約 物質変化と溶解	—	1	50%	50%
中1理科実習課題 新入生特約 混合と抽出	—	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア $-3, -2, -1, +1, +2, +3$
- イ $-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3$
- ウ $0, +1, +2, +3, +4$
- エ $-4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4$



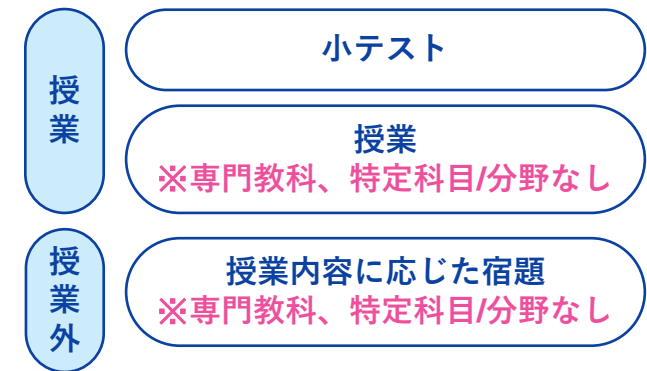
2. 5教科指導の実現①

<ここがポイント>

一律導入することで、安価な料金で、内申点改善や受験対策に向けた5教科指導を提供することが可能です。

現在、取り扱えていない教科、または授業内で指導しきれない特定科目/分野等について、スタディサプリを導入・活用することで、5教科指導を実現する活用事例です。

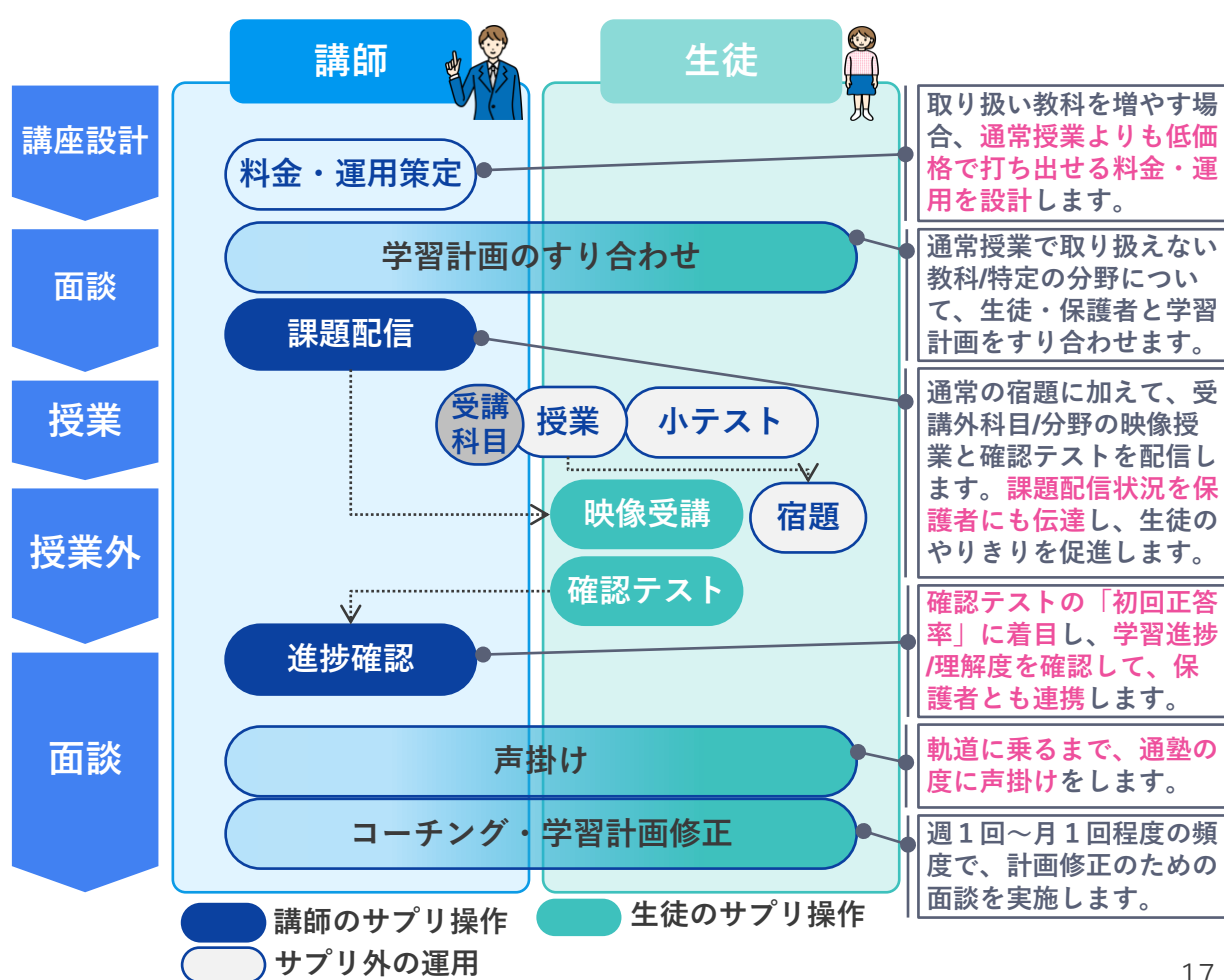
スタディサプリ導入前



課題感

- ✓ 雇用の問題で、専門教科、特定科目/分野を教えられる講師が不在。
- ✓ 5教科対応しているものの、家庭の経済事情により全ての受講は難しい。

スタディサプリご導入後



5 教科指導の具体例

5教科指導について、貴社の授業とスタディサプリの分担についてご共有いたします。
学習すべき単元/分野さえ把握できていれば、講師が事前に動画を観なくても配信可能です。

一部教科をサプリアで代替

ケース例	通常授業	サプリア
集団塾	英語 数学 国語	理科 社会
個別塾	英語 数学	国語 理科 社会
英語塾	英語	数学 国語 理科 社会
理系塾	数学 理科	英語 国語 社会

✓ 授業で扱えていない教科をサプリアで学習することが基本

一部科目をサプリアで代替

ケース例	通常授業	サプリア
数学	数I	数A
理科	物理 化学	生物
国語	現文	古文 漢文
英語	読解	文法

✓ 授業の時間内に対応しきれない分野をサプリアで補填する

取り扱っていない教科等について、生徒から質問を受けた場合の対応例

該当箇所の動画の再視聴を促す、該当箇所のテキストをダウンロードしてあげて読んでもらう、講師が該当箇所の動画を確認して指導する、該当箇所の記載がある学校の教科書/参考書を案内する 等

生徒に家庭学習をやり切ってもらおう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を軌道に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取組みが疎かになりやすい生徒については、課題配信後、保護者にLINEやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でサプ利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のための声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ⇒宿題の順で取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、やる気を引き出す雰囲気と環境を醸成する。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする



提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。



面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

課題名	演習動画視聴数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
中1理科実習課題 新(人)特約 物質の変化	—	1	67%	67%
中1理科実習課題 新(人)特約 物質変化と溶解・質量の変化	—	1	25%	25%
中1理科実習課題 新(人)特約 物質変化と溶解・質量の変化	—	1	50%	50%
中1理科実習課題 新(人)特約 液体と固体	—	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア $-3, -2, -1, +1, +2, +3$
- イ $-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3$
- ウ $0, +1, +2, +3, +4$
- エ $-4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4$



2. 5教科指導の実現②

<ここがポイント>

一律導入することで、安価な料金で、内申点改善や受験対策に向けた5教科指導を提供することが可能です。

塾の運用において負荷の増加を発生させず、コーチング主体で5教科指導を実現する活用事例です。

5教科指導実現の条件

科目数による料金変動を抑え、比較的安価でサービス提供可能であること

全教科の授業品質が高く安定しており、質問対応の手間も抑えられること

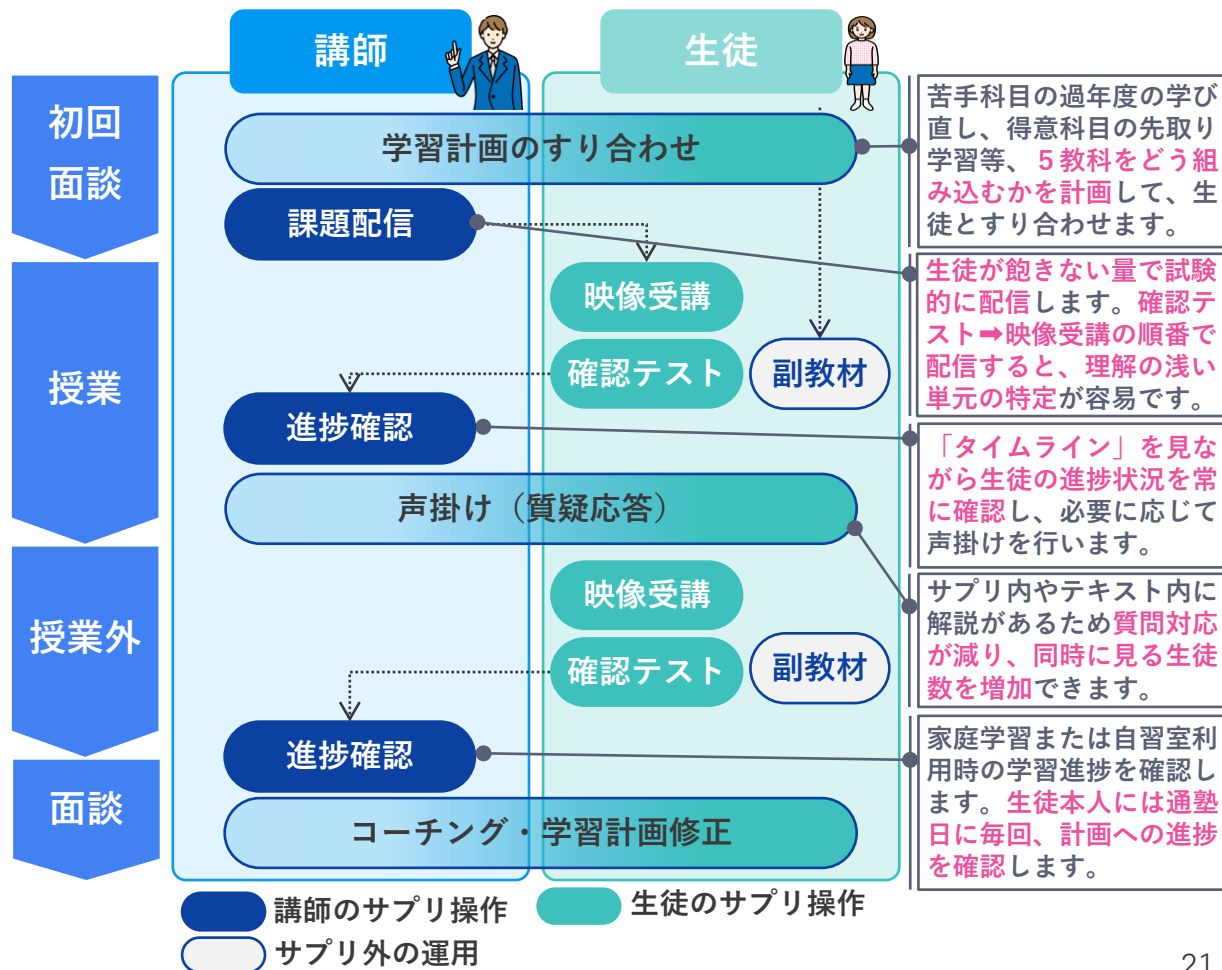
生徒が自立的に学習できるよう、短い時間でも効果的に学習が可能であること

課題感

① 雇用の問題で、専門教科、特定科目/分野を教えられる講師が不在。

② 5教科対応しているものの、家庭の経済事情により全ての受講は難しい。

スタディサプリご導入後



5 教科指導の具体例

5教科指導について、貴社の授業とスタディサプリの分担についてご共有いたします。
学習すべき単元/分野さえ把握できていれば、講師が事前に動画を観なくても配信可能です。

一部教科をサプリアで代替

ケース例	通常授業	サプリア
集団塾	英語 数学 国語	理科 社会
個別塾	英語 数学	国語 理科 社会
英語塾	英語	数学 国語 理科 社会
理系塾	数学 理科	英語 国語 社会

✓ 授業で扱えていない教科をサプリアで学習することが基本

一部科目をサプリアで代替

ケース例	通常授業	サプリア
数学	数Ⅰ	数A
理科	物理 化学	生物
国語	現文	古文 漢文
英語	読解	文法

✓ 授業の時間内に対応しきれない分野をサプリアで補填する

取り扱っていない教科等について、生徒から質問を受けた場合の対応例

該当箇所の動画の再視聴を促す、該当箇所のテキストをダウンロードしてあげて読んでもらう、講師が該当箇所の動画を確認して指導する、該当箇所の記載がある学校の教科書/参考書を案内する 等

タイムライン機能の活用方法

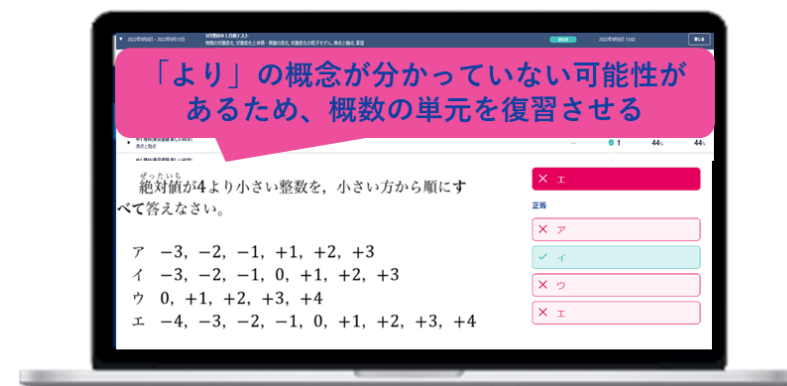
リアルタイムで生徒の学習進捗が把握できるタイムライン機能の活用方法をお勧めします。オンラインで結果を確認しながら、必要に応じて、生徒に声かけすることが可能です。

タイムラインをモニタリングし続ける



- ① 適切な時間で取り組めたか、確認テストのスコアはどうだったかを、講師は自席のPC又はタブレットを持ち歩いてリアルタイムで確認。

アドバイスや声かけ



- ② 配信開始から取組み完了まで、早すぎる/遅すぎる生徒に声掛け。
- ③ 正答率が低い生徒には、答案に従い間違えた箇所の指導を実施。復習が必要な単元を特定し、課題を追加。
- ④ 不慣れな生徒には、視聴速度の変え方、戻り方、止め方なども教える。

生徒に家庭学習をやり切ってもらおう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を軌道に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取組みが疎かになりやすい生徒については、課題配信後、保護者にLINEやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でアプリを利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のための声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ⇒宿題の順で取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、やる気を引き出す雰囲気と環境を醸成する。

3. 授業品質の向上・安定①

<ここがポイント>

一律導入することで、講師による柔軟な指導は残しつつ、補完部分が均質化されて授業品質の担保が可能となります。

1 コマの授業内で、講師が行う導入授業と併せて、質の高い講義動画と確認テストを追加配信して組み合わせることで、授業の品質を向上・安定させる活用事例です。

授業品質を決める要素

授業の品質

高

講師の得意科目
講師がベテラン
説明が端的

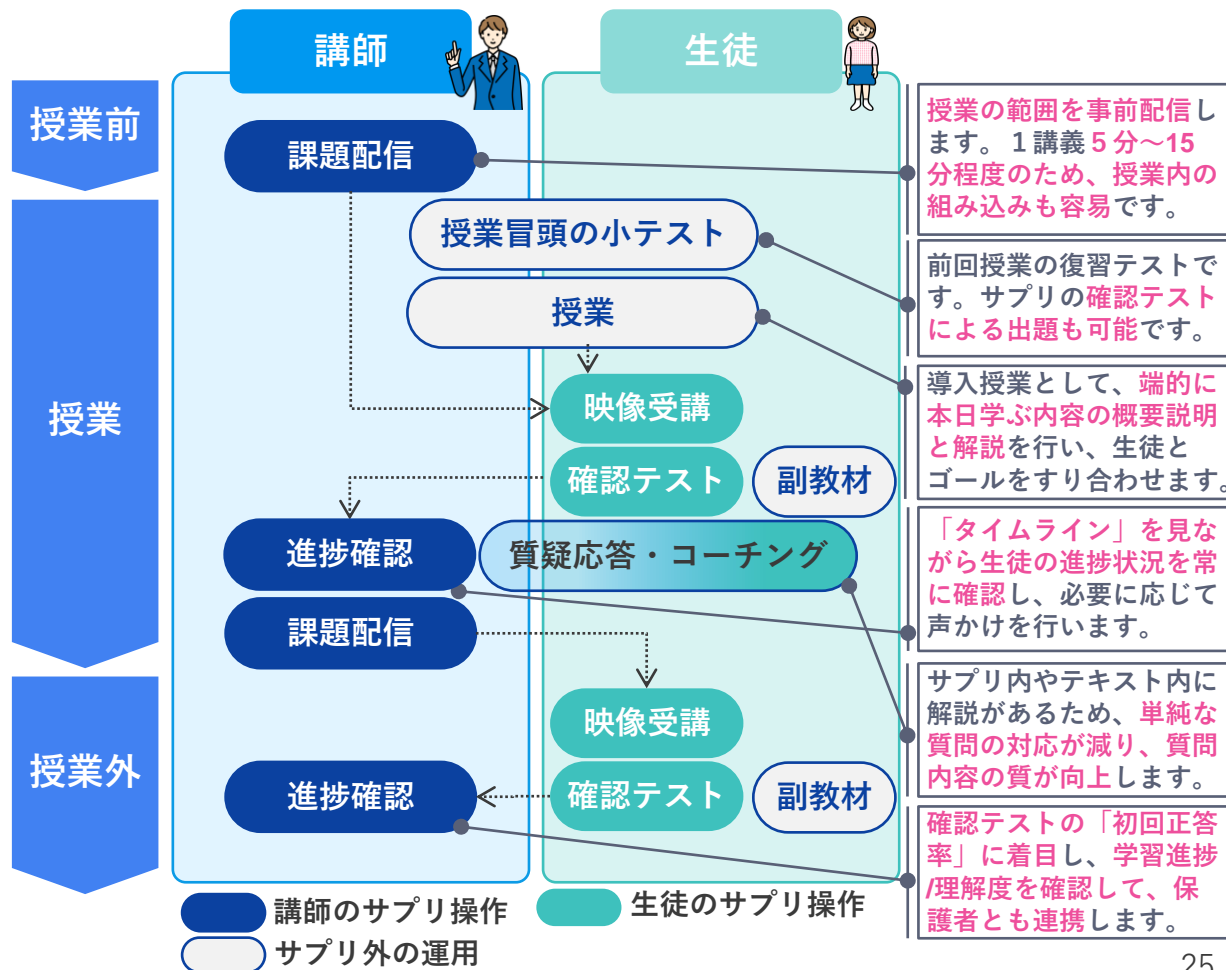
低

講師の苦手科目
講師が育成段階
説明が長い

課題感

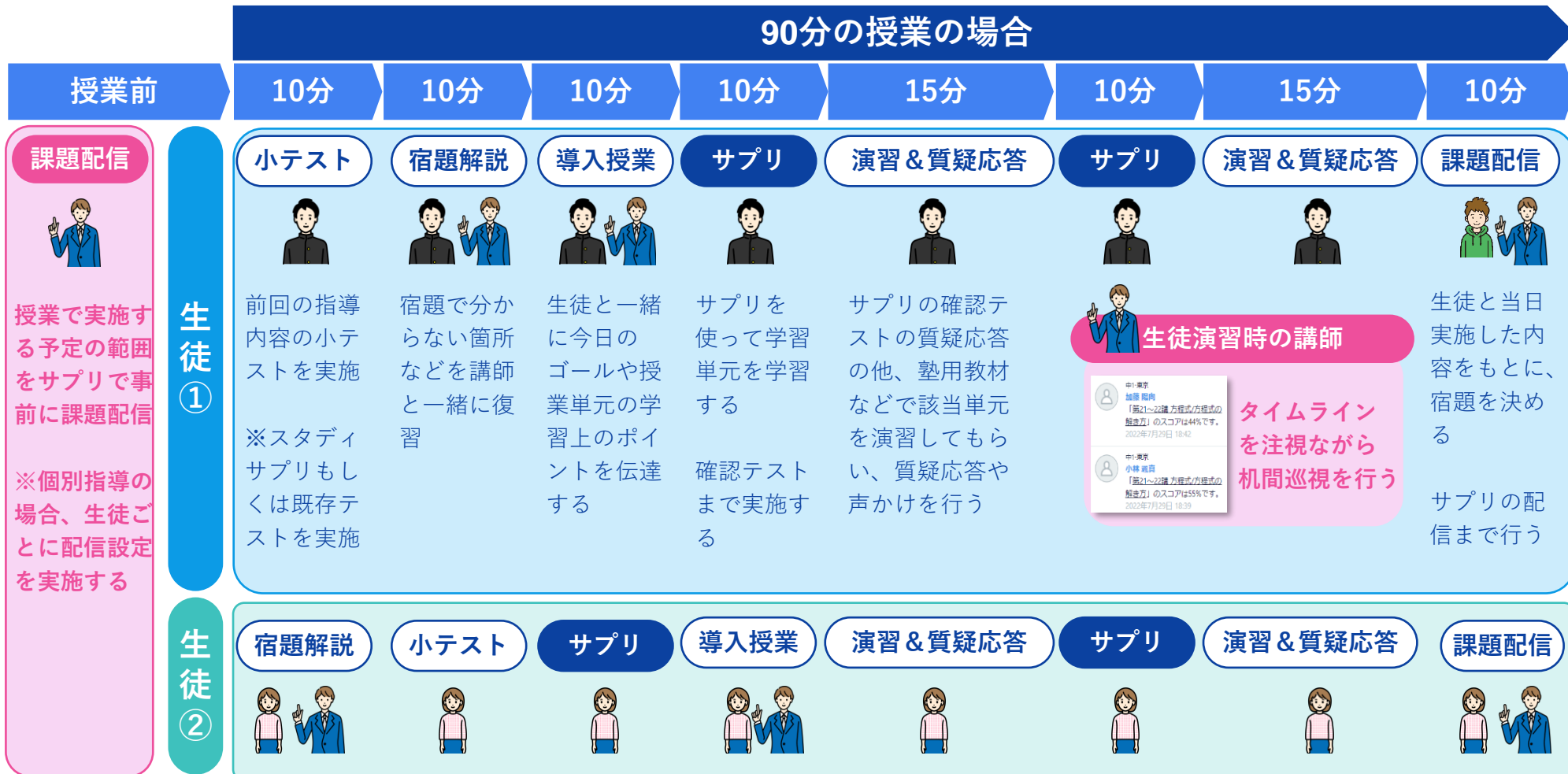
- ✓ 育成に手間が掛けられず、講師によって教え方のバラツキが生じる。
- ✓ ICT教材は映像授業が長すぎるため、授業時間内での取り扱い辛い。

スタディサプリご導入後



講師の導入授業とサプリを授業内併用する場合のイメージ

貴社の授業とスタディサプリの代表的な分担についてご共有いたします。授業前に配信しておくことでスムーズに授業を行うことができます。生徒が複数人いる前提を明示



タイムライン機能の活用方法

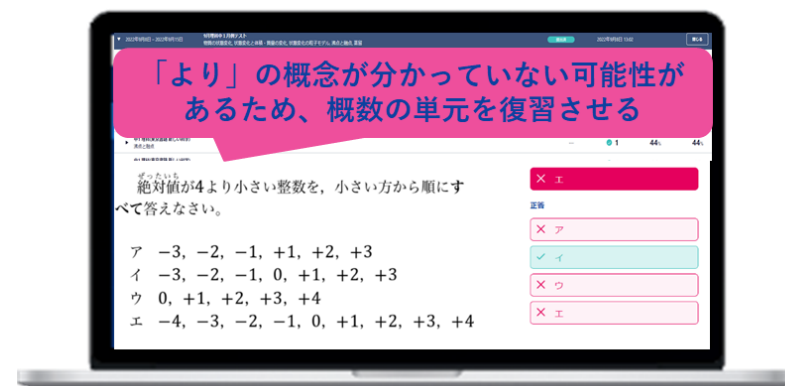
リアルタイムで生徒の学習進捗が把握できるタイムライン機能の活用方法をお勧めします。オンラインで結果を確認しながら、必要に応じて、生徒に声かけすることが可能です。

タイムラインをモニタリングし続ける



- ① 適切な時間で取り組めたか、確認テストのスコアはどうだったかを、講師は自席のPC又はタブレットを持ち歩いてリアルタイムで確認。

アドバイスや声かけ



- ② 配信開始から取り組み完了まで、早すぎる/遅すぎる生徒に声掛け。
- ③ 正答率が低い生徒には、答案に従い間違えた箇所の指導を実施。復習が必要な単元を特定し、課題を追加。
- ④ 不慣れな生徒には、視聴速度の換え方、戻り方、止め方なども教える。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする



提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。



面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

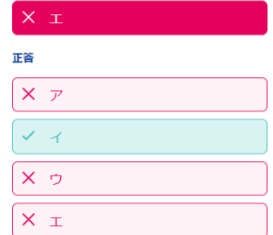
課題名	演習動画視聴数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
中1理科実習課題 新入生特約 物質の変化	—	1	67%	67%
中1理科実習課題 新入生特約 物質変化と状態・質量の変化	—	1	25%	25%
中1理科実習課題 新入生特約 物質変化と状態・質量の変化	—	1	50%	50%
中1理科実習課題 新入生特約 液体と固体	—	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア $-3, -2, -1, +1, +2, +3$
- イ $-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3$
- ウ $0, +1, +2, +3, +4$
- エ $-4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4$



3. 授業品質の向上・安定②

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒別の指導の不均衡が解消され、講師の対応可能人数が増えて、授業品質の担保が可能となります。

1 講義あたり、5～15分単位で細かく視聴できる質の高い講義動画と確認テストをコーチング主体の指導に組み入れ、授業の品質を向上・安定させる活用事例です。

授業品質を決める要素

授業の品質

高

講師の得意科目
講師がベテラン
説明が端的

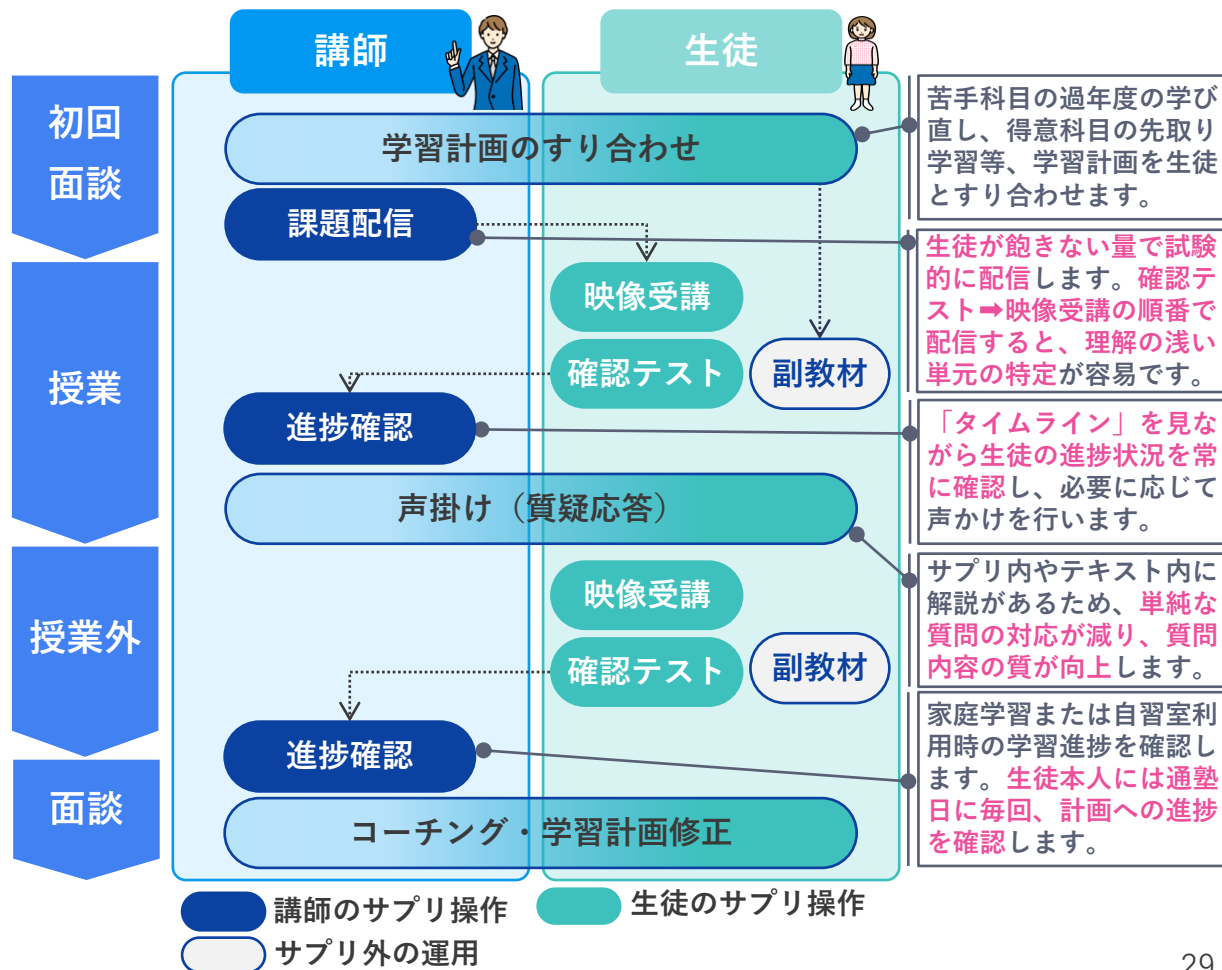
低

講師の苦手科目
講師が育成段階
説明が長い

課題感

- ✓ 育成に手間が掛けられず、講師によって教え方にバラツキが生じる。
- ✓ ICT教材は映像授業が長すぎるため、授業時間内での取り扱いが難しい。

スタディサプリご導入後



タイムライン機能の活用方法

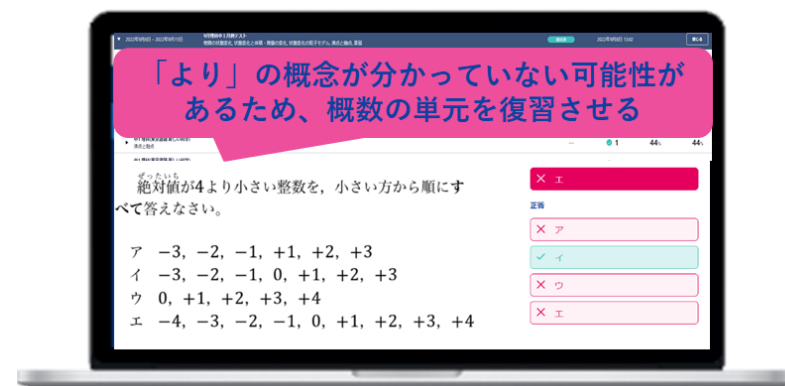
リアルタイムで生徒の学習進捗が把握できるタイムライン機能の活用方法をお勧めします。オンラインで結果を確認しながら、必要に応じて、生徒に声かけすることが可能です。

タイムラインをモニタリングし続ける



- ① 適切な時間で取り組めたか、確認テストのスコアはどうだったかを、講師は自席のPC又はタブレットを持ち歩いてリアルタイムで確認。

アドバイスや声かけ



- ② 配信開始から取組み完了まで、早すぎる/遅すぎる生徒に声掛け。
- ③ 正答率が低い生徒には、答案に従い間違えた箇所の指導を実施。復習が必要な単元を特定し、課題を追加。
- ④ 不慣れな生徒には、視聴速度の変え方、戻り方、止め方なども教える。

生徒に家庭学習をやり切ってもらう工夫

活用が成功している学習塾では、最初は少ない量で試験的に宿題配信を始めています。また塾内での活用・伴走を経て、保護者の協力も仰ぎ、家庭学習を軌道に乗せています。

よくある失敗例

完璧を求めるあまり、
最初から配信量が多くなってしまふ

操作・活用の方法が曖昧な状態で、
いきなり家庭学習として配信してしまふ

本人に任せきりになってしまふ

うまく活用するコツ

- ✓ 最初は少ない量から配信することで、取り組みハードルを低減
- ✓ 塾で操作方法・活用方法を習得させてから家庭学習に移行
- ✓ 学習サイクルが軌道に乗り、定着するまで、家庭とも連携

実際の事例

気付かせる

- 宿題配信日を講師から口頭伝達、生徒には紙にメモさせる。
- 通知設定機能があるアプリで学習させることで、配信内容を告知し、自動でリマインドを送付する。
- 家庭学習の取組みが疎かになりやすい生徒については、課題配信後、保護者にLINEやメールで知らせて協力を仰ぐ。

やらせる

- 最初の1か月は、1講義に絞り配信する。
※通年講座1講座あたり、中学講座が約5分、高校講座が約15分です
※宿題配信専用講座であれば、更に短い時間の受講が可能です
- 授業前後または授業がない日に、塾内でサプ利用する時間を設け、慣れてきてから家庭学習に移行する。
- 視聴速度変更やテキストダウンロード等、基本操作を教える。

追いきる

- 生徒が通塾する前に学習データを確認しておき、通塾時に直接、進捗/理解度確認のための声掛けを行う。
- 学習データで取り組んでいる曜日・時間を把握し、定時に取り組むよう指示を行う。保護者にも協力を仰ぐ。
- 学習データ⇒宿題の順で取り組み状況を印刷し、塾内に貼り出し、やる気を引き出す雰囲気と環境を醸成する。

学習データ機能による進捗確認

「初回正答率」に着目し、直前に視聴した講義動画の内容（または前回の授業内容等）の理解度を測り、生徒との面談（必要に応じて保護者にも連携して協力要請）に活用します。

生徒の進捗状況/学習理解度を確認する

- ・ トップページ ⇒ 「学習データ」 ⇒ 「生徒」 ⇒ 「検索」
- ・ 対象の生徒をクリックする



提出状況

- 提出済** 全ての課題が完了しています。
- 取組中** 一部の課題が完了しています。
- 未着手** 一題も取り組んでいません。

5

生徒情報	活動メモ	字のデータ	アンケート	学習履歴	検索	
学習履歴						
2022年4月4日～2022年4月24日				文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定	提出済	---
2022年4月4日～2022年4月24日				文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定	提出済	---
2022年4月4日～2022年4月17日				文法学習 第1～4講 4月3日 第1講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第2講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第3講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定 第4講 There is (are) ～の疑問文・否定文・肯定・否定	提出済	---
2022年4月4日～2022年4月10日				文法学習 第1～2講 4月3日 第1講 疑問文の疑問詞の使い方 第2講 疑問文の疑問詞の使い方	提出済	2022年4月10日 10:28
2022年4月4日～2022年4月10日				【文法学習】4月3日 第1～2講 第1講 疑問文の疑問詞の使い方 第2講 疑問文の疑問詞の使い方	提出済	2022年4月10日 10:32

面談などで生徒や保護者に学習状況を伝える

初回正答率

- ・ 課題をクリックすると進捗状況と理解度が確認できます。
- ・ 初回正答率が低い場合、該当分野の理解度が低いと判断できます。

課題名	演習問題数	確認テスト回数	初回正答率	最終正答率
中1 理科 実験 新入生特約 物質の変化	---	1	67%	67%
中1 理科 実験 新入生特約 物質の変化 質量の変化	---	1	25%	25%
中1 理科 実験 新入生特約 物質の変化 質量の変化	---	1	50%	50%
中1 理科 実験 新入生特約 物質と熱	---	1	44%	44%

答案確認

- ・ 単元をクリックし、「確認テスト」のタブをクリックすると問題ごとの解答を確認することができますので、初回正答率が低い生徒のみ、何の問題をどの様に間違ったのか確認します。

絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア $-3, -2, -1, +1, +2, +3$
- イ $-3, -2, -1, 0, +1, +2, +3$
- ウ $0, +1, +2, +3, +4$
- エ $-4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4$

× エ

正答

× ア

✓ イ

× ウ

× エ

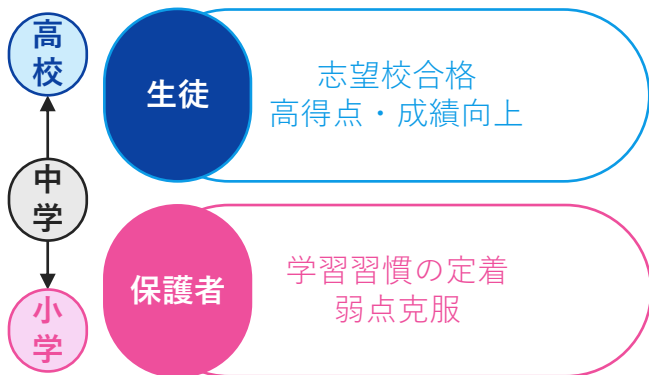
4.保護者とのリレーション強化①

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒一人ひとりの実力と克服すべき課題を詳細に把握することが可能です。

保護者リレーションに係る「会話の質×方法×頻度」のうち、テスト+学習状況の可視化により会話の質を高め、保護者の信頼を獲得する活用事例です。

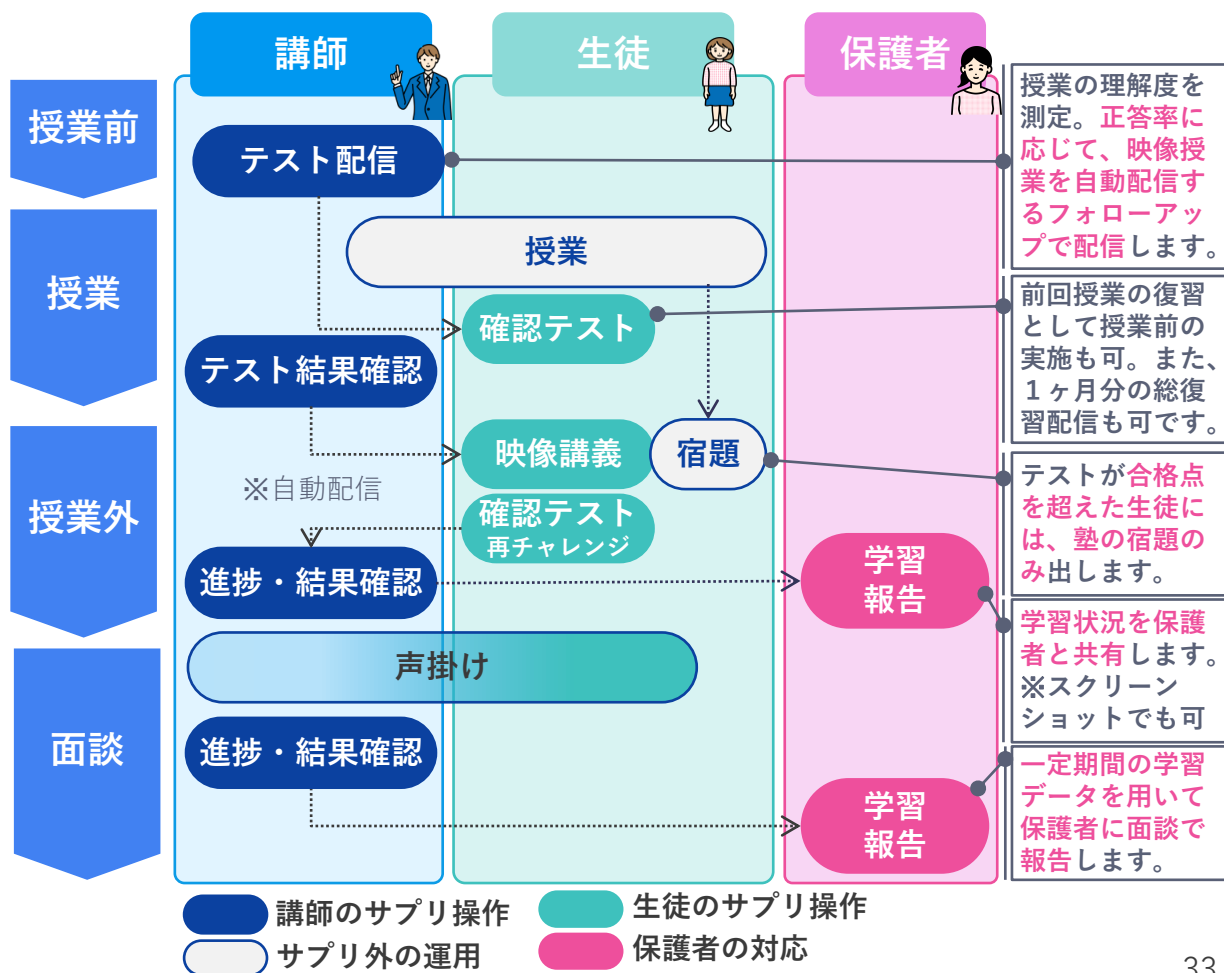
満足度に係る主体者と要素



課題感

- ✓ 他講師に任せており、塾長が全生徒の学習理解度/進捗を把握しきれない。
- ✓ 生徒は満足していても保護者満足が得られず、退塾増加のリスクがある。

スタディサプリご導入後



テスト機能利用で学力を可視化①

Step 1.

科目/単元/分野別の点数の傾向や、失点している範囲の特徴を伝えることで、保護者に対して納得のいく現状説明ができます。また家庭の協力も仰ぎやすくなります。

Step1
現状の概要を伝える

Step2
現状を具体的に共有する

Step3
今後の取り組みを共有する

▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の加法・減法 [加法と減法の混じった計算]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 項を並べる表し方 [加法と減法の混じった計算]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の加法・減法 [加法・減法]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 減法 [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法② [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法① [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の大小 [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値② [絶対値]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値① [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 整数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 数直線を使った表し方 [正負の数の表し方]	0%

お子様の数学のご状況ですが、
全体的に理解していて点数が取れています。
**点数が取れていなくて理解が追い付いていないところは、
符号の考え方が逆になる絶対値**であったり、分数について
小数が絡む難易度の高い単元になります。
また、**単純な計算以外や文章問題が苦手な傾向**があります。
もう少し具体的にご説明いたします。



テスト機能利用で学力を可視化②

Step 2.

特定の問題を取り上げ、なぜその答えを導いてしまったのか、わかっていない箇所はどんなところなのかを具体的に伝えます。

Step1
現状の概要を伝える

Step2
現状を具体的に共有する

Step3
今後の取り組みを共有する

ぜったいち
絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア -3, -2, -1, +1, +2, +3
- イ -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3
- ウ 0, +1, +2, +3, +4
- エ -4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4

× エ

正答

× ア

✓ イ

× ウ

× エ

たとえばこちらの問題では「エ」の選択肢を選んでいますが、これは、「4以下」の数字を選択してしまっていて、**問題文の「より」という意味が分かっていない、または、見落としていることが分かります。**こういった細かい弱点をつぶしていく必要があります。



テスト機能利用で学力を可視化③

Step 3.

現状に加えて、今後の取組みまで伝えることで、塾への安心感を持っていただけます。
このStep 3を実施することで、塾へ通っていただく意味を保護者に深く理解いただけます。



▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の加法・減法 [加法と減法の混じった計算]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 項を並べる表し方 [加法と減法の混じった計算]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の加法・減法 [加法・減法]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 減法 [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法② [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法① [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の大小 [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値② [絶対値]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値① [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 整数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 数直線を使った表し方 [正負の数の表し方]	0%

来月は、**0%の4つの単元の復習をサプリーで家庭学習として実施していただき、授業内でも進捗を確認**していきます。

また、先ほどのお子様の特徴からも、**応用問題に時間を充てられるように、日ごろの授業も調整**しながら進めます。

課題配信をした後、ご連絡させていただく場合がありますので、保護者様からもお声がけいただく等、ご協力の程、宜しくお願い致します。



4.保護者とのリレーション強化②

<ここがポイント>

一律導入することで、生徒一人ひとりの実力と克服すべき課題を詳細に把握することが可能です。

保護者リレーションに係る「会話の質×方法×頻度」のうち、テスト+学習状況の可視化により会話の質を高め、保護者の信頼を獲得する活用事例です。

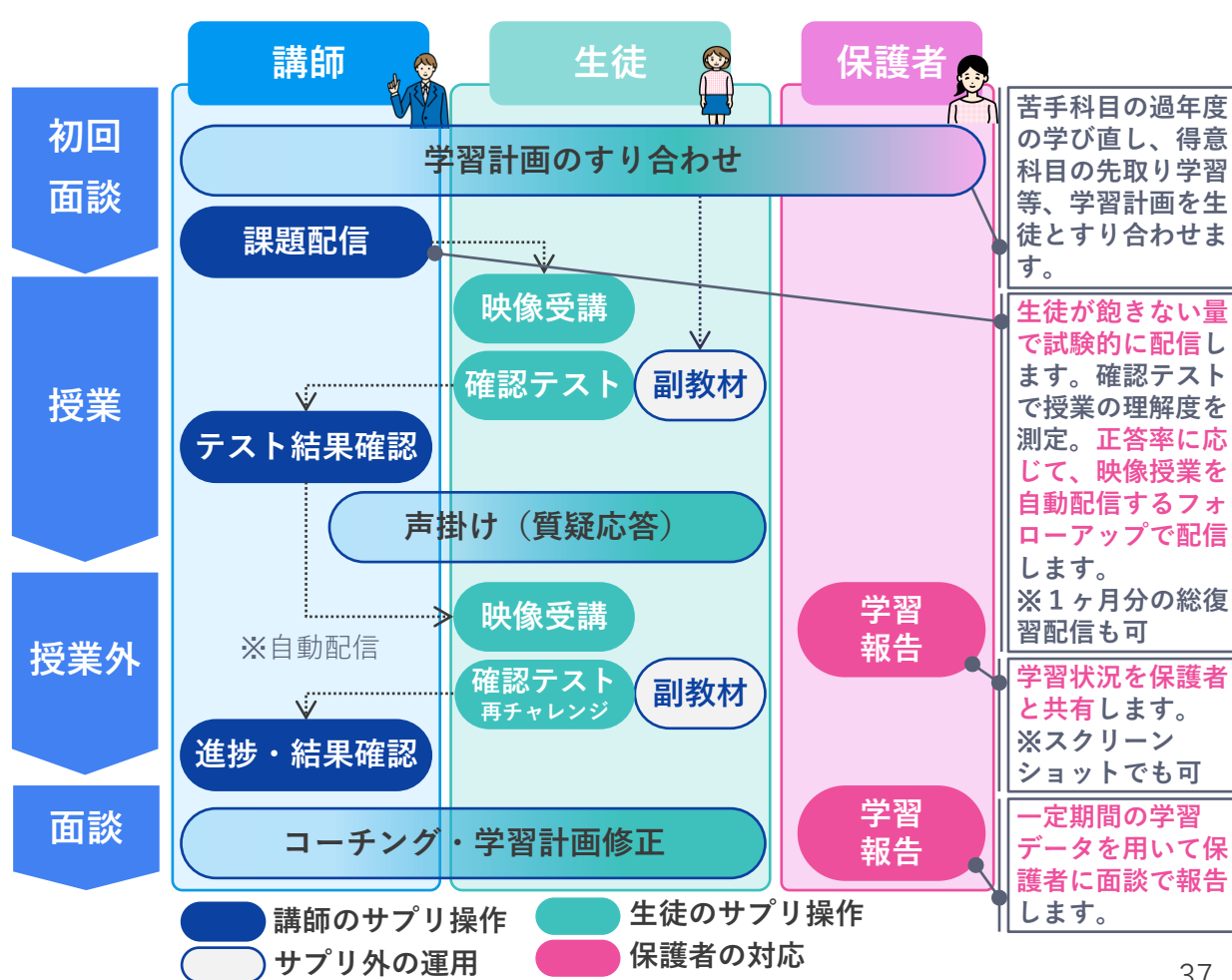
満足度に係る主体者と要素



課題感

- ✓ 他講師に任せており、塾長が全生徒の学習理解度/進捗を把握しきれない。
- ✓ 生徒は満足していても保護者満足が得られず、退塾増加のリスクがある。

スタディサプリご導入後



テスト機能利用で学力を可視化①

Step 1.

科目/単元/分野別の点数の傾向や、失点している範囲の特徴を伝えることで、保護者に対して納得のいく現状説明ができます。また家庭の協力も仰ぎやすくなります。

Step1
現状の概要を伝える

Step2
現状を具体的に共有する

Step3
今後の取り組みを共有する

▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の加法・減法 [加法と減法の混じった計算]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 項を並べる表し方 [加法と減法の混じった計算]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の加法・減法 [加法・減法]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 減法 [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法② [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法① [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の大小 [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値② [絶対値]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値① [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 整数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 数直線を使った表し方 [正負の数の表し方]	0%

お子様の数学のご状況ですが、
全体的に理解していて点数が取れています。
**点数が取れていなくて理解が追いついていないところは、
符号の考え方が逆になる絶対値**であったり、分数について
小数が絡む難易度の高い単元になります。
また、**単純な計算以外や文章問題が苦手な傾向**があります。
もう少し具体的にご説明いたします。



テスト機能利用で学力を可視化②

Step 2.

特定の問題を取り上げ、なぜその答えを導いてしまったのか、わかっていない箇所はどんなところなのかを具体的に伝えます。

Step1
現状の概要を伝える

Step2
現状を具体的に共有する

Step3
今後の取り組みを共有する

ぜったいち
絶対値が4より小さい整数を、小さい方から順にすべて答えなさい。

- ア -3, -2, -1, +1, +2, +3
- イ -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3
- ウ 0, +1, +2, +3, +4
- エ -4, -3, -2, -1, 0, +1, +2, +3, +4

× エ

正答

× ア

✓ イ

× ウ

× エ

たとえばこちらの問題では「エ」の選択肢を選んでいますが、これは、「4以下」の数字を選択してしまっていて、**問題文の「より」という意味が分かっていない、または、見落としていることが分かります。**こういった細かい弱点をつぶしていく必要があります。



テスト機能利用で学力を可視化③

Step 3.

現状に加えて、今後の取組みまで伝えることで、塾への安心感を持っていただけます。
このStep 3を実施することで、塾へ通っていただく意味を保護者に深く理解いただけます。



▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の加法・減法 [加法と減法の混じった計算]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 項を並べる表し方 [加法と減法の混じった計算]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の加法・減法 [加法・減法]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 減法 [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法② [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 加法① [加法・減法]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 小数・分数の大小 [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値② [絶対値]	0%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 絶対値① [絶対値]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 3つ以上の数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 整数の大小 [数直線と整数の大小]	100%
▶ 中1 数学(東京書籍 新しい数学) 数直線を使った表し方 [正負の数の表し方]	0%

来月は、**0%の4つの単元の復習をサプリで家庭学習として実施していただき、授業内でも進捗を確認**していきます。

また、先ほどのお子様の特徴からも、**応用問題に時間を充てられるように、日ごろの授業も調整**しながら進めます。

課題配信をした後、ご連絡させていただく場合がありますので、保護者様からお声がけいただく等、ご協力の程、宜しくお願い致します。

